# 自治体における LINE公式アカウント活用事例集

2025.2

LINEヤフー株式会社

LINEヤフー

# **Contents**

# ■広報広聴

- ユーザーニーズに即した情報配信
- 広報誌に関するアンケート調査
- 「知事への手紙」の受付
- LINEスタンプを活用した友だち獲得

# ■観光・地域振興

- デジタルスタンプラリー
- 交通サービスの利用予約
- クーポンキャンペーン①
- クーポンキャンペーン②

# ■保健福祉

- Alチャットボットによる問い合わせ対応
- 位置情報等を活用した保育施設の検索
- 保育所入所手続きに係る来庁予約
- 健康づくりに関するポイントキャンペーン

# ■防災

- 防災チャットボットによる被害情報の収集
- 防災啓発コンテンツの配信
- 避難所の入所受付
- ショップカードを活用して防災意識の向上

## ■都市整備・環境

- 道路損傷の通報
- 不法投棄の通報
- ポイ捨てごみ情報の投稿
- 粗大ごみの有料戸別収集の申込み

## ■その他

- 公的個人認証サービスを活用したオンライン申請
- 図書館の利用者登録や本の検索・予約
- LINEで横浜市の図書館利用を促進
- 町立小中学校・幼稚園への欠席等連絡
- 自治会・町内会を通じたチラシ配布

# 広報広聴 編

# ユーザーニーズに即した情報配信





防災・気象情報、ごみの日、子育て、学校など幅広い配信カテゴリが用意されており、市民は行政からの情報 をタイムリーに必要なものだけ受け取ることができる。

## **Point**

# 豊富な配信カテゴリで 一人ひとりにあった情報配信

忘れがちな月1回の燃えないごみの日やアレルギー確認の大変な給 食献立情報など、利用者の「あったらいいな」を追求した豊富な配信 カテゴリにより、一人ひとりの生活スタイルに即した情報配信を実現。

#### **Point**

# 開封率向上やブロック抑制に寄与

受け取りたい情報のみ受信するため、メッセージの開封率・クリック率が高まるとともに、通知が多いことによるブロックも減少することが期待される。





# 広報誌に関するアンケート調査





『広報いずみおおつ』に関するアンケート調査をLINEのリサーチ機能で実施。回答のインセンティブを高めるため、クーポン機能を併用し、回答者の中から抽選で市内協力事業者の商品をプレゼントしている。

# **Point**

# 回答数が10倍以上増加 幅広い世代からの意見を収集

従来の紙媒体による調査では平均約20件/月※1の回答であったのに対し、LINEでの調査では平均約212件/月※2の回答を獲得。また、回答者の年齢層も幅広い。

## **Point**

# 市内事業者の商品PRや 新規顧客獲得機会の創出に寄与

参加された事業者からは、「新しいお客さんにお店を知ってもらえた」「プレゼントの引き換えと合わせて、お店の商品も買っていただけた」などの声が寄せられている。

- ※1 対象期間は平成27年4月から令和3年3月
- ※2 対象期間は令和2年10月から令和4年9月





# 「知事への手紙」の受付





滋賀県政への提案や意見等を広く県民の方などからお聴きする「知事への手紙」をLINEから受付。

# **Point**

# 約2人に1人がLINEから 「知事への手紙」を送信

受付方法として、LINEの他にもwebフォーム、封書(ハガキ)、FAX等を用意しているが、令和3年度における受付数の約半数※がLINEからのものであった。

#### Point

#### 回答もLINEで返信

LINEにて受付を行ったものは、それに対する回答もLINEにて 返信している。





※令和3年度において、総受付件数9,623件のうち4,344件がLINEから受け付けたものであった (参照:https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseisanka/324070.html)

# LINEスタンプを活用した友だち獲得





友だち追加した先着 5 万人に、長野県 PR キャラクター「アルクマ」の LINE スタンプ 8 種類を無料でプレゼントするキャンペーンを実施。また、県広報紙の読者アンケートにリサーチ機能を活用。

#### **Point**

## わずか2週間で友だち数5万人

県内外に人気がある「アルクマ」を採用したことで、2週間で5万ダウンロードを突破。また、使い勝手を意識し日常的に使える「ワード」も採用。スタンプをきっかけに長野県のLINEの便利な機能を体感してもらえうことができた。



# 広報紙読者アンケートの回答経路に LINEを追加し回答数が約2倍に

県広報紙の読者アンケートの回答方法は、これまでハガキまたは電子申請サービスだったが、LINEを新たに追加。使い慣れているLINEからの回答が全体の約半数を占め、回答者数は前回の約2倍になった。

















長野県 PR キャラクター「アルクマ」 ©長野県アルクマ

# 保健福祉 編

# AIチャットボットによる問い合わせ対応





LINE上で子育て等に関する問い合わせが可能。リッチメニューから質問内容を選択していく以外にも、トーク上に直接質問内容を入力することができる。

#### Point

#### 24時間365日問い合わせ可能

開庁時間等を気にすることなく問い合わせることができる。また、問い合わせ対応に係る職員の負担軽減にも繋がっている。

#### **Point**

逐次検証・見直しによる 応答内容の高品質化

問合せ内容を踏まえ、AIの自動応答に対応できるFAQの追加・修正等を適宜行い応答内容の質を高めている。累積解決率は80%を超える。





# 位置情報等を活用した保育施設の検索





任意の場所を起点にその周辺の教育・保育施設をLINEで探すことができ、各施設の住所や電話番号に加え、定員、アレルギー対応に関する情報も確認できる。

# **Point**

現在地だけでなく、任意の場所を 起点として検索できる

自宅や職場などの住所を指定し検索することができるため、利用者の利用シーンに合った検索が可能。

## **Point**

距離や入園希望年月などで さらに絞り込みが可能

「自宅から何km以内」、「0歳クラスがある」などの条件を指定することが出来るため、自分の世帯にあった施設が探しやすい。





# 保育所入所手続きに係る来庁予約





LINE上から保育所入所手続きに係る来庁日時の事前予約の申込が可能。

# **Point**

# 来庁予約利用者の約90%が LINEの予約システムを利用

2021年度実施分において、LINEと電話にて予約を受け付け、 予約者のうち約90%がLINEからの予約であった。

#### **Point**

## 適正な人員配置が可能に

事前予約導入により、いつ・どれだけの保護者が来庁するか予 測出来るようになり、人員配置を計画できるようになった。





※画面イメージの画像は三島市役所HPより一部転載 https://www.city.mishima.shizuoka.jp/ipn048427.html

# 健康づくりに関するポイントキャンペーン





運動習慣、検診受診の動機付けなど、市民の健康づくりを目的としたキャンペーン。市内施設や医療機関等に配置された専用QRコードを読み取ることで「くじらん健康ポイント」が付与され、一定のポイントを貯めるとプレゼントと交換できる。

# Point

# ポイント獲得からプレゼント 引換券の発行までLINEで完結

ポイント付与するためのQRコードの発行やポイント管理、プレゼント引換券の発行まで全てLINEのショップカード機能で実現。

# **Point**

# 若年者から高齢者まで幅広く キャンペーンに参加

元々若年者をターゲットにした事業ではあったが、専用アプリのDLが不要でLINEから参加できるという手軽さなどから、高齢者の利用にもつながっている。





# 都市整備・環境 編

# 道路損傷の通報





LINEのトーク上で道路の穴ぼこなどの損傷状況(損傷種別や写真、位置情報など)を通報することができる。

# **Point**

# 損傷状況の素早い把握とより迅速な対応が可能に

テキスト情報以外にも損傷個所の画像や位置情報も提供される ため、従来の電話での通報に比べ、損傷状況が把握しやすい。

#### **Point**

電話対応に要していた職員負担の軽減

令和3年度では、合計1,578件※の通報がLINEを通じて行われた。





※『道路損傷通報システムを利用して寄せられた通報への対応状況』より集計 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/kanri\_senyo/kanri/line.html

# 不法投棄の通報





LINEのトーク上で道路上などの廃棄物の不法投棄の状況(写真(近景・遠景)、位置情報、発見日時)を通報できる。

# **Point**

市民が手軽に通報・情報提供することができる

開庁時間等を気にすることなく、不法投棄に関する情報をその場で通報・情報提供することができる。

#### **Point**

不法投棄の早期発見・対応スピードの向上に寄与

写真や位置情報を収集することができるため、電話等と比べ状況把握が容易となり、その後の行政指導などの対応まで素早く繋がることが期待される。





# ポイ捨てごみ情報の投稿





ソフトバンク株式会社との共同研究「ポイ捨てごみゼロプロジェクト※」において、まちのポイ捨てごみの散乱 状況を調査。LINEのトーク上でポイ捨てごみの状況を投稿できる。また、地図上に投稿内容がプロットされ、自 分や他の人の投稿内容を確認することができる。

### **Point**

# ポイ捨てごみ情報のデータを収集

ポイ捨てごみの写真、種類、数量、位置情報のデータを収集できる。

#### **Point**

# 収集したポイ捨てごみ情報データ の政策立案への活用

収集されたポイ捨てごみのデータを分析し、ポイ捨ての原因の 究明や、ごみ箱の設置場所検討など、ポイ捨てごみの課題解決に つなげる。





※「ポイ捨てごみゼロプロジェクト」 https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/kankyou/32708.html

# 粗大ごみの有料戸別収集申込み





LINEのトーク上で、粗大ごみの有料戸別収集の申込みを行うことができ、支払いにはクレジットカードが利用できるため、ごみ処理券購入に出かける手間が省ける。

# **Point**

# 3人に1人がLINEからの申込み 98%の利用者が便利さを実感

「ごみ処理券の購入が不要なので、時短ができた」「夜中でも 申込みができて助かった」と、利用者から高く評価されている。

#### **Point**

#### 申込受付に係る電話対応の削減

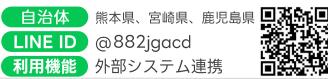
申込受付が電話からLINEへと置き換わることで、従来要していた電話対応用務の削減に寄与。





# 観光・地域振興 編

# デジタルスタンプラリー





指定のスポットにてGPSを読み込むとデジタルスタンプを取得でき、集めたスタンプ数に応じて特典に応募でき る。

## **Point**

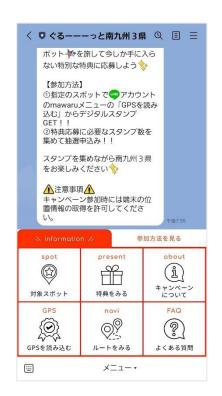
キャンペーン終了後も 継続的に情報発信が可能

キャンペーン中に獲得した友だちに対し、キャンペーン終了後 も観光情報や新たなキャンペーン情報を通知できる。

## **Point**

参加者の属性や観光ルートなど マーケティングデータの蓄積

年齢や性別、居住地といった属性別の訪問先やルートなどを分 析し、今後の観光施策への活用が期待される。





# 交通サービスの利用予約





移動したい住民と、自分もおでかけついでに誰かを乗せることができる住民ドライバーをマッチングする新しい公共交通サービス「ノッカル」の利用予約がLINEから行うことができる。

# **Point**

# 専用アプリのDLは不要でデジタルに不慣れな方も使いやすい

LINE公式アカウントと友だちになるだけで利用でき、操作方法 も文字入力の必要はほとんどなく、直感的にボタンを押していく だけで進められるため、デジタルに不慣れな方でも使いやすい。

# Point

リマインドメッセージによる 乗り忘れ防止

乗車前日の19時と、乗車当日の1~2時間前に、予約内容のリマインドメッセージが届く。





# クーポンキャンペーン(1)





鹿児島県内の対象店舗における飲食または花き・お茶・特産品の購入に利用できる共通クーポン「ぐりぶークーポン」を同県LINE公式アカウントの友だち限定で配信。

# **Point**

# キャンペーン効果により 友だち数100万人越え

キャンペーン期間に連動して友だち数は増加し、開始時(令和2年10月1日)には1.5万人ほどだった友だち数が、令和5年1月末には100万人を超えた。

#### **Point**

# 分析機能によってクーポンの 使用状況等を把握

LINE公式アカウントの分析機能によって、クーポンの使用状況等を把握することができ、予算の執行状況等に応じて機動的にクーポンの発行や停止が可能。





# クーポンキャンペーン②





島田市内の対象店舗で利用できるクーポンを同市LINE公式アカウントの友だち限定に配信。クーポンは対象店舗毎に発行し配信。

# **Point**

店舗毎のクーポン発行による 新規顧客獲得及び集中利用の回避

店舗毎にクーポンを発行することで、お店のPRになるとともに、 特定店舗に利用が集中せず、多くのお店でクーポンが利用された。

#### **Point**

クーポンの発券・配布コストが0

従来のプレミアム商品券などの場合、商品券の発行や配布に印刷費や配送費等が発生していたが、LINE公式アカウントを活用することでコストをかけることなくクーポンの発行・送付が可能。





# 防災 編

# 防災チャットボットによる被害情報の収集





発災時、市民等が災害の発生状況や位置情報、写真をLINEで登録できる。登録された情報はAIが自動でカテゴライズのうえ地図上にプロットされる。

#### **Point**

#### 被害状況の迅速な把握が可能に

投稿された内容はリアルタイムで地図上に整理・集約されるため、発災から短時間で視覚的に被害状況を把握できる。

#### Point

# 市民の適切な避難行動にも寄与

市民も被害状況がまとめられた地図を確認することができるため、どこに避難すればよいかの参考となる。







# 防災啓発コンテンツの配信





ハザードマップ、避難先、避難のタイミング、そしていざという時に役立つ防災情報や避難情報など大雨の時に命を守るために必要な一連の情報を「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」としてLINEで配信。

# **Point**

# それぞれの市町村に合わせた 情報配信

選択した市町村に連動して、身近な地域の情報がフォーカスされて表示されるので、情報の確認が簡単。

#### **Point**

配信1週間で参加回数60,000越え93%が防災意識の高まりを実感

参加者からは、配信内容のみならず、好きな場所で好きな時に 参加できる手軽さを評価する声も多く寄せられた。



# 避難所の入所受付





住民が避難所に入る際、LINEにて入所受付を行うことができる。入力画面は13か国語に対応しており、日本語に不慣れな外国の方もスムーズに受付ができる。

# **Point**

# 受付場所の混雑解消と避難状況の把握の迅速化に効果

受付は各自のスマートフォンから行うため、受付をするために 並ぶ必要が無くなるとともに、市町や県も避難所ごとの人数を即 時に把握することができる。

#### **Point**

物資等の避難生活に関する情報や各種支援制度の情報も配信

炊き出しの時間や物資の到着予定時刻のお知らせであったり、 避難生活後に必要となる各種支援制度の情報を配信する。



L	ine Disaster Prev line-disaster-preventio		Û
	Language	English	
Fukui P Rece <sub>l</sub>	refecture l otion Ques	Evacua tionna	ation ire
Center: テスト	遊難所		
Please fill out	the following items	S.	
Register date:	2023-02-02		
Address			
Full Name *	Family name	Given na	me
Furigana	Family name	Given na	me
Phone *	-	-	
Car stay	Preferred	Not prefer	rred
Gender	Male Fema	ale Ot	her
Age		years old	
Require special attention	Handicapped Infant Pre	Elderly gnant	
License			

# ショップカードを活用して防災意識の向上





ショップカードの機能を活用して、ハザードマップによる避難経路等の確認や、防災イベント・防災訓練の参加等の防災ミッションにチャレンジし防災ポイントを貯めると防災備蓄品などがあたる抽選に応募ができる。

#### Point

#### 防災知識と防災ポイントを獲得

定期的に配信される防災クイズに参加すると、ショップカードに 防災ポイントが付与される。LINEからクイズのバックナンバーも確 認できるので、気軽に防災知識と防災意識の向上が目指せる。

#### Point

#### 実際に訪れてポイントを獲得

防災をより身近に感じ、防災行動を行うきっかけとして、防災イベント、防災訓練、防災体験施設、かがわ防災協力認証店(県内約240店舗)に設置されるQRコードを読み込むことで防災ポイントを獲得できる。











防災協力認証店 お店情報

# その他

# 公的個人認証サービスを活用したオンライン申請





住民票の写しや税証明書、転出届などを申請する際の本人確認手段として公的個人認証サービス※を導入し、申請から本人確認、そして決済まで全てLINE上で完結。

# **Point**

厳格な本人確認が必要な手続きも オンラインで完結

住民票の請求、税証明の請求、転出届の申請、戸籍の附票・印 鑑登録証明・独身証明・身分証明の請求で利用可能。

#### **Point**

10~70代まで幅広く利用 98%の利用者が便利さを実感

「書類の記入がいらないことがすごく良い」、「自宅に届けて もらえるので便利」、「県外からの申請も問題なく簡単に行え た」などといった声が寄せられている。





※「LINE Pay 公的個人認証サービス」を利用(https://pay.line.me/portal/jp/business/jpki)

# 図書館の利用者登録や本の検索・予約





LINE上で図書館の利用者登録や本の検索・予約ができる。既に利用者登録している場合は、LINEアカウント連携が可能。

# **Point**

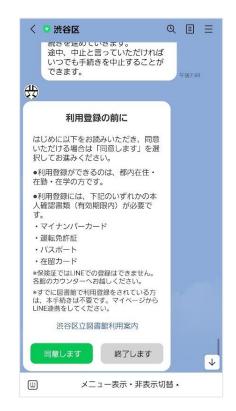
# 利用者登録に係る本人確認の厳格性と利便性を両立

マイナンバーカード(公的個人認証サービス※1)か顔認証※2のいずれかを用いて本人確認を実施しており、オンラインでありながら確実な本人確認を行える。

#### **Point**

書籍の検索から貸出予約まで LINEのトーク上で可能

会話形式で簡単に書籍の検索から貸出予約までトーク上で可能。





- ※1 「LINE Pay 公的個人認証サービス」を利用(https://pay.line.me/portal/jp/business/jpki)
- ※2 「LINE eKYC」を利用(https://clova.line.me/line-ekyc/)

# LINEで横浜市の図書館利用を促進





LINE公式アカウント上に図書館メニューを追加し図書館利用を促進。LINEを通してデジタル図書館カード (利用者番号)を表示させたり、資料の検索やAIチャットボットを利用した問合せをすることができる。

# **Point**

LINE公式アカウント上で デジタル図書館カードを表示

ユーザのLINEアカウントとデジタル図書館カードの利用者番号を 紐づけることで、LINEを通じてデジタル図書館カードを表示。ス マートフォンのみで本を借りることが可能になる。

# **Point**

おすすめ本の紹介サービス 「コレヨム? |

忙しくて本を選ぶ時間がないユーザーに向けて、気軽に選択肢から選ぶだけで新しい本との出会いを提供するサービス。タイトル・著者・ジャンル等を決めていなくても、興味・関心を惹くような本と出会える。





# 町立小中学校・幼稚園への欠席等連絡





町立小中学校・幼稚園の児童・生徒の欠席や遅刻、早退を、保護者がLINE上で学校側へ連絡することが出来る。また、学校側が保護者の属性に沿った形で日常の連絡や緊急時の連絡等を迅速にメッセージ配信することも可能。

# **Point**

# 保護者の欠席連絡負担の軽減と学校側の働き方改革両方に効果

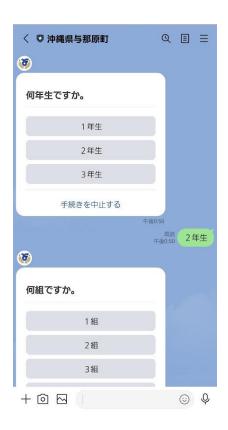
保護者は24時間いつでも学校へ欠席などの連絡が可能となり、 学校側は保護者からの電話対応などが半分以下に減り、双方に とってメリットがある仕組みとなっている。

## **Point**

# 子育て世代の友だち増加や ブロック回避に寄与

毎年、新入生の保護者による友だち追加が期待されるとともに、 日常的に利用する機能であるためブロックの回避にも繋がってい る。





# 自治会・町内会を通じたチラシ配布





新潟市内の自治会・町内会を通じて、市のLINE公式アカウントの紹介・友だち募集チラシを配布。

# **Point**

地域コミュニティを活用した 効果的な周知で友だち1万人増加

自治会・町内会という地域ネットワークを活用し、市内2,055の 自治会・町内会にチラシを配布。わずか3か月で1万人の友だちが増加した。

#### **Point**

オフラインからオンラインへの誘導

チラシによりデジタルツールに不慣れな層を含む幅広い年代層に リーチすることで、市民をオフラインからオンラインサービスに効 果的に誘導。(増加した1万人のうち、52%は60代以上の方)





メニューを開く/閉じる▼

# LINETZ